

蔵王山

そこに雪はあるか

雁戸山～蔵王山

栗原雪

最近すっかり東北づいている。中1日休みを取れば4連休の11月下旬、よし、雪のあるところに行くぞ！ということで、当初は吾妻連峰に行く予定だった。だが、土曜日は風が強そうだし、月曜日は天気が悪い。強風の稜線歩きは厳しそうだなあ。目をもっと北に移動すると、蔵王山があった。山頂はもう雪景色のようだ。北側の雁戸山から縦走すれば、途中で避難小屋もあるし土曜日は樹林帯の中を歩けるので風も気にならない。1泊2日で行け、下山後温泉宿にも泊まれる。登山口までのバス便がちょうどいい時間帯がないが、そこは社会人(?)、タクシーを使おう。

11月20日 晴れ

登山口にはすでに2台車が停まっていた。話しかけると、地元の方だという。登山口などを教わり、一足先に歩き始めた。途中沢を渡るのだが、橋が通行止めとなっている。とりあえず沢で水を汲み、飛び石伝いに沢を渡渉した。うーん、のっけからなかなか…。だがこの先はちゃんとした登山道だったので一安心。地元の3人組と前後しながら歩く。



雁戸山山頂



八方平避難小屋

雁戸山山頂は意外と人で賑わっていた。とは言え、5-6人だが。ここから南雁戸山へはコースタイムで30分ほどだが、



雁戸山までの道と違い、登山道に少々枝が張り出している。南雁戸山から避難小屋へも同様だった。そう言えば、東北の「山と高原地図」のコースタイムは厳しめだったなあ…。しっかりコースタイムをオーバーして避難小屋に着いた。小屋は他に人もおらず貸切状態、快適に使わせていただく。昼に着いたので、仮眠して起きてもまだ日が残っており、贅沢な時間を味わった。

11月21日 薄曇り

明け方まで吹いていた風が朝には収まり、ほっとして出発。標高1700mくらいになると、雪が現れ始めた。熊野岳の上りに差し掛かる頃には雪道となったが、それほどクラストしていなかったため、そのままツボ足で登っていった。上がるとお釜が見えるのかと思っていたが、熊野岳の避難小屋からは見えない。ザックを避難小屋において、とりあえず釜見物に行った。水を湛えた釜のブルーが美しい。



蔵王山のお釜

熊野岳山頂には鳥居と祠があった。安全登山祈願のお参りをしていく。ロープウェー方面からはぼちぼち人が登ってきており、皆、熊野岳を超えて刈田岳を踏みに行くようだ。私はそこはパスし、ロープウェー方面に下り始める。すぐに雪は消え、のどかな風景となったロープウェー駅近辺には、観光客と思しき人々がたくさんおり、もう下界に下りたようだった。しかしそこは山ヤ、楽そうなロープウェーには見向きもせず、下山後の温泉を心の支えに、蔵王温泉まで歩いて下りたのだった。



温泉神社、長い階段の上にある

DATA

山行日 2021年11月20日～21日



行程 11/20 雁戸山登山口(7:30)～雁戸山(10:00)～南雁戸山(10:45)～八方平避難小屋(12:10)

10/3 避難小屋(6:30)～名号峰(8:00)～熊野岳避難小屋(9:40/10:20)～熊野岳(10:30)～ロープウェー駅(11:15)～蔵王温泉(13:00)

地形図 笹谷峠・蔵王山

メンバー 栗原